

ジャワ日食－ウジュンパンダン個人旅行

あさ お まる
且 尾 衛

日食観測に日本人千数百人が参加！と騒がれたが、日食ツアー以外の方法でこの日食を見た日本人もかなりいると思う。我々の乗った飛行機にも、日食があるのでこの時期にバリ旅行を選んだという日本人や3月に結婚したのに新婚旅行を遅らせたという人がいた。天文ショーに人々の関心が集まるのは悪い気がしない。

我々が個人観測を選んだ理由は「安く！自由に！」につきる。最終的には自由だったが安くはなかったという事になってしまったが、満足はしている。

日食行きを決めたのは前年の秋だった。小学校時代からの星友達であり、今も松の葉星の会で一緒に活動している長島君と計画を練る事にした。何も我々は海外旅行のベテランという訳ではない。長島君が2度の海外旅行経験を持っているだけで、私などは、飛行機にも乗った事がない程の海外旅行オンチだった。それなのに、個人旅行をするのは少々の不安もあったが、やっしまえという事になった。

予想した通り予約には大変手間どってしまった。何しろ、正規で航空券を買おうとジャカルタ往復だけで35万円にもなってしまうらしい。これだけで、ツアー料金より高くなってしまいう訳である。ホテルもいっぱい、航空券も高い、クロスカウンターをくらって計画はやり直しに

なってしまった。こんな事をしているうちに83年を迎える程計画は遅れていた。

練り直して出来た案は、ジャワ島を避けスラヴェシ島へ行きホテルを確保する事と同時期の安いパリツアーに参加して安く航空券を手に入れる事だった。もちろん、現地では完全に自由行動をとらせてもらい、スラヴェシ島まで飛んでしまう訳である。

経費を紹介すると（1人分）

① パリツアー代	1 6 5,0 0 0 円
② インドネシア国内運賃	5 5,1 0 0 円
③ ホテル代(ビクトリアホテル☆☆3泊)	1 8,0 0 0 円

合計238,100円となるが、食事代、タクシー代は別だから実際にはツアーとさほど変わらない。日程は6月8日から13日である。計画中には、新宿駅の旅行センターの手をわずらわせた訳であるが、あっ旋手数料は2,000円だった。自分でホテルの予約をとるのもいいが、旅行業者を使うのも手ではないだろうか。何しろ安全、確実である。計画自体が遅かったせいもあり、ホテルの予約がとれたのは5月に入ってからだった。要するに、日食1ヶ月前になってやっと完了した訳である。

日食当日、ウジュンパンダンの天候には少々うらぎられてしまったが、よい経験をたくさん持つ事が出来た。この経験を生かして次回はミンダナオ日食に行こうと思っている。自分たちの会でツアーを作り、小笠原とミンダナオで2点観測が出来たら最高だ。皆さんも手作りの海外日食体験をされてみてはいかがでしょうか。